

令和6年11月26日

魚沼市議会議長 森島 守人 様

産業建設委員会
委員長 渡辺 一美

産業建設委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 行政視察について
(2) 行政視察の総括について
(3) その他

- 2 調査の経過 11月26日に委員会を開催し、行政視察及びその総括を行った。
その他で、本委員会の2年間の総括について及び令和6年度産米の状況について質疑等を行った。

産業建設委員会会議録

1 付議事件

(1) 行政視察について

①田んぼダムについて（見附市役所）

②刈谷田川遊水地について（見附市役所）

(2) 行政視察の総括について

(3) その他

2 日 時 令和6年11月26日 午前9時

3 場 所 本庁舎3階 委員会室

4 出席委員 桑原郁夫、星 直樹、浅井宏昭、渡辺一美、佐藤 肇、本田 篤

5 欠席委員 (森島守人議長)

6 説明員 星野農政課長

7 書 記 坂大議会事務局長、椛澤議会事務局次長

8 経 過

開 会 (8:50)

渡辺委員長 それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから産業建設委員会を開会いたします。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、配付のとおりであります。

(1) 行政視察について

①田んぼダムについて（見附市役所）

②刈谷田川遊水地について（見附市役所）

渡辺委員長 日程第1、行政視察についてを議題といたします。本日は見附市にて、田んぼダム及び刈谷田川遊水地を視察いたします。事前に質問事項を皆様から提出していただき、ありがとうございました。視察の中で回答いただけるよう、見附市様に依頼をしております。本日の日程について、事務局から説明をお願いします。

椛澤議会事務局次長 (日程について説明)

渡辺委員長 それでは、これより行政視察を行います。しばらくの間休憩といたします。

休 憩（８：５１）

（休憩中に行政視察）

再 開（１４：１０）

渡辺委員長 休憩を解き、会議を再開させていただきたいと思います。

行政視察につきまして、皆様本当にお疲れ様でございました。慌ただしい視察ではございましたけれども、いい視察ができたのではないかというふうに思っております。

（２）行政視察の総括について

渡辺委員長 日程第２、行政視察の総括についてを議題といたします。委員の皆さんから視察の御報告をいただきたいと思いますので、お一人ずつ簡潔に御感想をお願いいたします。二つのところを視察させていただきましたので、まずは田んぼダムについてお一人ずつ御意見を聞かせていただき、次に遊水地という形で御感想をいただきたいと思います。

それでは桑原委員のほうから、まず田んぼダムについてお聞かせいただきたいと思えます。

桑原委員 広大な面積をよくそこまで整備されたなと感心しました。以上です。

星委員 非常によく考えられたものだなと思って聞いていました。移動のときに質問をしてみたんですけど、農家の方の中には設置しているのも分からない人もいるみたいなことを言われていたので、そのぐらい負担が軽いものなのかなというふうに思って聞いていました。説明を聞いていると、メリットだけでデメリットは全く聞けなかったんだけど、そのぐらいなのかなと思って最後は聞いていました。以上です。

浅井委員 田んぼダムについては、ほ場整備の終わっていない入広瀬以外の場所であれば、十分に魚沼市でも取り組んでいけることだと思いました。以上です。

本田委員 私は横から落とすタイプのことしか考えていなかったのですが、縦で排水するタイプを見て、大変目からうろこというような印象でありました。また、あのタイプを魚沼市に当てはめることができるかという点、どうも落差の関係もあってなかなか難しいのかなと感じました。では魚沼市で田んぼダムをやる必要性があるのかどうかも含めると、今日の資料を見るとそれほどでもないのかなと思う一方で、小出島辺りの地域は町場の田んぼですよね、ああいったところはやってみてもいいのかなと。ただし、その場合はやっぱり横のタイプとなるので、今回のように人手が要らないとかお金がかからないとか、そういった話が少し難しいのかなと思っています。もしやるのであれば、横のタイプで良い方法というのをもう少し研究する必要があるのかなと思いました。何はともあれ非常に参考になりました。ありがとうございます。以上です。

佐藤（肇）委員 質問でもさせていただきましたけれども、落差が取れるような水田整備が魚沼市の場合はされていないというようなこともありますので、横での排水についてはやはり手がかかるというのが説明をいただいたとおりにじゃないかなというふうに思いました。効果の面なんですけど、1,200ヘクタールでしょうかね、これくらいのところで一気にこういうことをされるということは当然非常に効果も絶大だろうと思うんですが、魚沼市の場

合は河川が細かくて本数も多く、また一か所に多くの水田が固まっている地域もそれほどないというようなことで、なかなか見えるような形での整備というのは難しいかなというふうに思って見てきました。以上です。

渡辺委員長　確かに難しい面もたくさんあるかもしれないんですけども、見附市さんも新潟大学さんと一緒になって改良していくことをされたということですし、また魚沼市の水田の面積全体でそれがもし可能であれば、かなりの保水力あるのではないのかなと思いましたが、どのように考えていくかはまたこれからの課題だというふうに思って見てまいりました。以上です。

それでは引き続きまして、②刈谷田川遊水地について、また皆さんから御意見をいただきたいと思えます。まず、桑原委員お願いします。

桑原委員　関さんの話が非常に熱がこもってまして、話のとおり土手を切ってやる話を、地権者は泥水を入れることについては了承などは最初得られなかったと思えます。たまたま中之島に友達がいて、平成16年に被害に遭ったときに行ってきたんですが、本当に臭くて汚くて、地震は大変ですけど、あの汚さと臭さはやっぱり被害に遭わないと本当に分からないことだと思えます。ですから、それをお互いが理解し合っていかなければできないことを非常に考えて関さんの話を聞いたんですが、それを思っただけで魚沼市を考えると、四日町とか沢田とか、私の近所しか分からないですけども、被害に遭ったところを見ていますので、被害に遭う地域、そんなに面積は多くないように私は思っているんですけども、できることをまた検討する余地はあるのかなという感じで聞かせていただきました。大変いい勉強会でありました。以上です。

星委員　初めて見学させてもらいました。設置する場所は限られていますが、下流を守るためには必要なものなのかなと思って見ていました。地域住民を納得させるために御尽力されたのかなというのを感じました。人の命を守るのか、農地を守るのか、両方守らなければいけないのかなという気持ちで見ていました。以上です。

浅井委員　遊水地に関しては、水を貯めるのに適した地形を探すことがまず大分難しく、魚沼市でいうとその地形がまず見当たらないので、かなり限定された地域でしか取組ができないことかなと思いましたがけれども、効果のほどは大変目を見張るものがあってびっくりしました。以上です。

本田委員　7.13水害のとき多分10人くらいの方が犠牲になられたと思うんですけども、そういった中で地権者あるいは農地の方々、自分たちにメリットなんかあまりないにもかかわらず、こうして災害を思うという意識の中で皆さん承認していったということは、いろいろお願い活動もあったと思うんですけども、皆さんの理解には敬意に値するのかなというふうに感じております。当市でやるとなると相当なエネルギー量が必要だなというふうに感じました。魚沼市においてどこがという話になると、これから先の話かもしれないけれども、本来であれば北堀之内地域というのが昔はそうだった。でも今はなかなか難しいというところもあるので、そういったところも含めて、また堀之内というわけにもいきませんので、もしやるのであれば用地選定等を真剣にやっていく必要があるのかなというふうに感じました。以上です。

佐藤（肇）委員　魚沼市の場合ですが、やっぱり川の大きさ、魚野川、破間川なんかは川が大きいものだから、遊水地という形でやると、堤防を切ると田んぼ自体を流してしまうく

らいのことが私は懸念されるんじゃないかなと思いました。山間地域に行けば行くほど今度は平らなところがないので、遊水地自体が造れないのかなと。今回の遊水地を見ると、一番下流側に越流堤が切ってあって、そこから水が溜まり始めるとその池の上流側に流れ込んで広がっていくような、そういう造りになっている。できるだけ土砂を上流のほうへ流さないような、全体を土砂で埋めないような、そういった工夫の中でされていたようなんですけど、それぞれの池が水平になっているからああいうことができるので、魚沼市は段々田んぼみたいな形でかなり一枚一枚の高低差が大きいですから、これはどうしても厳しいのかな。そういうことであれば、これ以上堤防は高くできないというところはあるのかもしれませんが、そっちよりもやはり河川の整備のほうに力を入れたほうがいいのかというふうには思いました。以上です。

渡辺委員長　私も、遊水地については魚沼市で展開していくにはちょっと無理があるところが大きいかなと思いつつながら見学させていただきましたが、あの遊水地を造るまでのいろんなお話を聞かせてもらったこと自体には物すごく価値があるというふうに思いました。これが遊水地というところだけではなくて、全体の公益を守るためにどこかの方たちが負担を負ってもらおうというような場合がこれから先もあるかもしれない、そんなときにどんなふうにして理解を得ていくのかという意味では参考になったのではないのかなというふうに思います。いずれにしても、魚沼市も全く水害がないわけではございませんので、どのような手だてをして水害の地域、いつも水上がりする地域というのは限られておりますので、そういった方たちの生活をどう守っていくのかという点ではさらなる研究が必要だというふうに思いました。以上です。

それでは、皆様方からの感想を聞きましたので、最後に執行部から参加されました星野農政課長のほうから御意見、御感想をお聞かせいただきたいと思っております。

星野農政課長　まず、田んぼダムとの関係でありますけれど、まずやっぱり農家負担、農家の気持ち等を含めて、田んぼダムを設置することをしっかり理解していただいた上での取組は当然必要になってくると思っておりますし、今日見附市さんの縦型の、メンテナンスがあまりなくて済むようなタイプ、そういったものが設置できると大分農家負担もなくて、実現の可能性というものはあるのかなというふうに思っております。ただし、先ほど来のお話のとおり、縦型タイプを魚沼市に当てはめられるかというところでは、ほ場の条件上厳しいところが多いのかなというふうに思っております。横型タイプのもので、そういった改良型のものが、今改良されているというお話も視察の中にございましたので、そういったところに期待していきたいと思っております。現在でも、ほ場整備が終わったところで、一部でございますが、田んぼダムの升を設置しているほ場も多少あったりします。今後そのほ場整備が完了していくところについては、そういった工事と併せて設置というのは御理解いただいてできていけるんだろうなというふうな印象を持ったところでございます。

あと、遊水地の関係については、同じような意見かと思っておりますけれども、命を守るという点では非常に有効なところかとは思っておりますけれども、なかなか魚沼市として、またブランド米である魚沼産コシヒカリの産地として、そういった適地であったり、そもそもその考え方等を含めてなかなか現状は厳しいのかなと思った印象でございます。以上です。

渡辺委員長　ありがとうございました。それでは、皆さんの御意見は会議録にて記録させていただきますまして、総括にさせていただきたいと思いますが、皆さん、それでよろしいでしょうか。（異議なし）そのように決定をいたしました。

本件につきましては、今後の委員会において引き続き調査等を行ってまいりたいと思いますがいかがでしょうか。（異議なし）そのように決定させていただきました。

（３）その他

渡辺委員長　日程第３、その他を議題といたします。皆様のほうから何かございませんか。

佐藤（肇）委員　そろそろこの委員会のこの２年間でまとめなければならないんですが、これから事務局さんにもちょっと骨を折ってもらってその辺拾ってもらいたいと思いますが、委員の皆さん方からもそろそろまとめに入る段取りというようなことで、次の委員会からなるのかその先になるのか、そういったような辺り御検討をお願いしていただけたらいいかなと思います。以上です。

渡辺委員長　これにつきましては、事務局のほうでは準備のほうはどのようになっていますでしょうか。

坂大議会事務局長　事務局としては特にはないですが、前回の議長の指示もありましたとおり、委員会として課題の洗い出し等の作業を進めてほしいということでありました。

渡辺委員長　では、委員長、副委員長、そして事務局のほうで、それを進めるような準備にこれから入りたいと思います。そのような形でよろしいでしょうか。（異議なし）ではそのように決定いたしました。

執行部のほうから、何かございますでしょうか。

星野農政課長　特段ございません。

渡辺委員長　ほかに皆様のほうから何かございませんか。

佐藤（肇）委員　そろそろ全部まとまったと思うんですが、今年の米の作況の関係みたいなのは、全体でどうなったんだという辺り、当初中間で一等米の比率はこれくらいみたいな話はあったんですが、大体全部出そろったのだらうと思いますが、どこかで報告みたいをお願いできないかと私的には思います。今年の米はいいとか、米はかなり値上がりしているという市場の話はあるんですが、売渡価格が変わったかみたいな話までは聞いていないので、そういった辺り。

星野農政課長　令和６年産の状況でございますが、ちょっと今資料が手元にないものですから、正確な細かい数字というわけにはいかないかもしれませんが、まず作況の関係でございますが、これについては先週、農林水産省のほうから発表がございまして、現在の発表しているエリアでいいますと、魚沼地域も中越地域ということでの広い範囲での作況になっておりまして、99ということでの発表がございます。ただし、この地域、なかなかそこまで、99だと平年並みぐらいな数字になってしまうんですけれども、実態としてはそうでもないという声が聞こえてきています。10アール辺り大体1俵か1俵半少ないとかというような声も聞いておりますので、ちょっと発表されている実態とは離れているなという印象を持っております。ただし、魚沼市の作柄、収量がどれだけかというのは公表の数値に出てきませんので、あくまで聞こえてきている範囲のことになってまいります。

それから、等級の関係でございますが、先週段階でほぼ数字が固まっております。最終的な検査が今週、ちょっと日にちは忘れましたが、28日とか29日とか、その辺の日程かと思えますけれども、JAの検査のほうは今週が最終ということで、その数値を待っているところなんですけれども、現時点において一等米比率81.4%から5%、その辺の数字でございます。今ほどの81.4%といいますのは、コシヒカリの一等米の比率になります。先日、日本農業新聞のほうで、ほかの産地もそうですけれども、魚沼産コシヒカリのエリア、小千谷から十日町、南魚沼市等を含めたエリアの中でのコシヒカリの一等米比率、いつ時点のものか忘れましたが60%台と大分低いなというところを感じたところでありました。そういうところと比較しますと、今回8月以降の強い雨等の関係で倒伏があったりいろいろあったりしたわけなんですけれども、その中でも比較的高いところの等級比率なのかなというふうに思っております。

それと、米の価格でございますが、これもすみません資料がなくて、JAの仮渡金も2万1,000円から2万2,000円台、ちょっと数字は忘れましたが、昨年と比べるとほかの産地も大分上がっておりますので、それに負けないような仮渡金ということでJAからお話を聞いております。先週発表されました、新聞にも載っておりますけれども、この相対取引の価格ということで新聞報道もされておりましたが、そこでの魚沼産コシヒカリはたしか2万5,000円ぐらいの価格だったと思いますし、ただしそれを上回るほかの産地も新聞報道の中に読み取れましたので、需用と供給の関係かと思えますけれども、令和の米騒動以来の米の高止まりといいますか、今のところそういった状況が続いているということでございます。以上です。

佐藤（肇）委員　これから最終だということで、数字がまとまるのはもうちょっと先かななんて思うんですが、12月定例会中ぐらいの委員会で、一応令和6年度の結果という形で御報告していただければありがたいんですが、その辺はどうでしょうか。

星野農政課長　12月定例会の会期内での委員会で、また正確な数字等を含めまして、その頃になるとほぼほぼ固まっているはずですので、正式にといいいますか、発表させていただければと思います。

渡辺委員長　それでは、そのようにお願いをしたいと思います。

しばらくの間、休憩とさせていただきます。

休　　憩（14：33）

（休憩中に懇談的に意見交換）

再　　開（14：34）

渡辺委員長　休憩を解き会議を再開いたします。それでは、以上で本日の日程は全て終了させていただきます。本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の産業建設委員会はこれで閉会といたします。ご苦労様でした。

閉　　会（14：34）

産業建設委員会

委員長 渡辺 一美